

科目名	ピアノV(弾き歌いを含む)	科目ナンバリング	KC3M1T05		
担当者	木村 博子・田中 幸子・塩津 貴子				
担当形態	クラス分け	単位数	1単位		
対象学科	こども学科	開設学年	3年次		
開講時期	前期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	必修			選択必修	BCEF
備考					

授業のテーマ及び到達目標	<p>子どもの感性を伸ばす音楽を探求する 保育の現場に合う童謡の伴奏と弾き歌いの力をつける 右手旋律・左手コードまたはベース奏、両手コード伴奏、その場に合う編曲ができるようになる 8、9月の保育実習、幼稚園教育実習へ向けての実習判定曲を全て暗譜で自由に弾けるようになる</p>			
授業の概要	<p>実習時を想定し、暗譜・笑顔・振り向きながら、目の前の幼児に語りかけるピアノ伴奏および弾き歌いのための個人レッスンを行い、実習判定に臨む 生活、行事の歌を課題曲として判定を行う 実習時期に合わせ、季節、</p>			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション ハ長調のコードの復習 園生活の歌	シラバスを読む 付点リズムに気をつけ元気な音で弾く	レッスンカードの活用、実習判定までの計画を立てる
	2	旋律と伴奏コードのバランス 園生活の歌	園児に旋律を指導する想定でバランスを意識して練習	「旋律の冴えた音、左5指は支え」を身につける
	3	弾き歌いの基本 園生活の歌	歌詞を暗譜してくる	明るく元気な音色のために必要な指の基礎訓練を考える
	4	実習判定① 園生活の歌	完全に暗譜し、元気よく弾き歌いする練習をする	左手と歌、右手旋律を弾きながら歌い、バランスをとる
	5	前奏の効果 二長調の童謡	「さんはい」に合わせやすい前奏の終わり方を研究する	緊張に耐え、完璧な暗譜演奏に至る練習量・質の探求
	6	情緒豊かな歌詞を活かす 日本の童謡	歌詞を読み込み、フレーズを大切に歌う練習をしていく	ピアノでも弾き歌いでも抒情性が伝わる演奏の探求
	7	ペダルの効果的使用法 登場回数が多い園生活の歌	誰でも口ずさめる曲を音楽的に正しく理解する	伴奏の完成後は様々なtempoや表現で練習する
	8	実習判定② 年間通してよく歌われる歌	教科書を基に曲や自分に合う伴奏型を考え練習する	曲調に合う強弱を用い、曲に合う表現を身につける

	9	二長調のコード・転回形 夏の歌	課題曲に動きをつけると仮定して弾き方を研究する	移調奏、先読み、弾き歌いの練習
	10	付点リズムと三連符 快活な童謡	5番までの歌詞を覚え、へ長調のコードを復習する	ト長調、へ長調両方自由に演奏できるようにする
	11	付点四分音符と付点八分音符 園生活の歌	コードとアルペルティバス両方の復習をしておく	音楽的で正しい付点リズムを自由に使えるようにする
	12	実習判定③ 軽快な付点リズムの歌	「さんはい」直後からしっかり歌い始める練習をする	振り向き、笑顔に完全に慣れる練習を積む
	13	初秋の風情を歌う 現場で必須の歌	3番までの歌詞を完全に暗譜する	風景を思い浮かべ絵を描けるような表現の工夫
	14	元気な発声をめざす 行事の歌	同じ行事の別の曲を調べる 明るく歌う	伴奏を自由に使えるようにし、難度の高い版も練習
	15	レパートリーの仕上げ まとめ	実習判定基準に沿って課題曲の表現方法を整理し暗譜	こどもの動きや感情に寄り添った表現を探求する

使用教科書	ポケットいっぱい <u>のうた</u> (教育芸術社),
	こどもの <u>うた</u> 200(チャイルド社),
	続・こどもの <u>うた</u> 200(チャイルド社)
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	ピアノ・弾き歌い実技試験	80%	かけ声・振り向き・音程・音楽性
平常点(態度・行動観察)	20%	毎回のレッスン状況、取り組みの姿勢	

科目名	ピアノⅥ(弾き歌いを含む)	科目ナンバリング	KC3M1T06		
担当者	木村 博子・田中 幸子・塩津 貴子				
担当形態	クラス分け	単位数	1単位		
対象学科	こども学科	開設学年	3年次		
開講時期	後期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	必修			選択必修	BCEF
備考					

授業のテーマ及び到達目標	ピアノⅤまでに培った力を活かし、保育現場で提供するに相応しい、更に深い音楽を求めていく。童謡の音楽性、保育の現場に相応しい伴奏の編曲、コード伴奏を確実なものにし、課題は全て暗譜する歌詞の読み取り、意味を考えた譜読み、自分に合った編曲など、自分で切り拓いていく力をつけることを目標とする			
授業の概要	現場で役立つ、子どもに合う編曲、移調、コード伴奏、両手伴奏等、様々な形に慣れて使えるようになるための徹底した個人レッスンを積んでいく 冬、早春の課題曲で実習判定を行う			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション 実習の振り返り	実習中の曲を弾き歌いし、音楽活動について纏める	レッスンカードに振り返りと今後の目標を書き込む
	2	拍感と強弱 秋の歌	動作を伴う元気よい曲と抒情的な曲との違いを練習する	オペレッタの演出を想定し、応用法を考える
	3	へ長調の復習 活気溢れる曲と情緒溢れる童謡	ベース伴奏を拍に乗せる練習	親子愛に満ちた音色とタッチを研究し身につける
	4	変口長調のコード 運指を考える	ベース伴奏で右手の旋律を歌が聞こえるように奏する	両手伴奏で弾き歌いの練習をする
	5	実習判定① 季節の歌と日本の童謡	フレーズと音価を含めてきちんと暗譜する	判定で演奏しなかった課題曲を復習し完全なものにする
	6	ピアノ曲に取り組む クラシックの小品	取り上げる曲の調のスケールとアルペジオの練習をする	曲から訓練すべき音型を探し効率的な練習法を考える
	7	ピアノ曲のレッスン 練習の密度を受講のしかたを学ぶ	作曲家、曲の背景、作品番号、原典版について調べる	楽語の意味や表記のしかた、深読みして表現法を探る
8	ピアノ曲の仕上げ 成果発表	楽譜に自分の注意事項を書き込み、視奏か暗譜か決める	人の演奏に感想、意見を言えるよう注意深く聴く	

	9	へ長調のベース伴奏と分散和音 冬の歌・行事	へ長調コードの復習をし、楽譜にない前奏を考える	強弱記号がない曲の緊張の解決を楽譜から読み取る
	10	スタッカートと擬音語 季節の歌・冬	歌詞読みをし曲に合うスタッカートの奏法を研究する	二長調をハ長調に移調し、楽譜にも書けるようにする
	11	ハ長調の復習 行事の歌	解離型コードに慣れハ短調の首階とカデンツを練習する	オリジナルの前奏を身につけ、使えるようにする
	12	実習判定② 冬から春への歌	曲調に沿った表現で完全に暗譜する	一緒に歌いたくなる伴奏とは何かを探求する
	13	変ホ長調のコード 早春の歌	調号の確認、左手の主要三和音を練習しておく	黒鍵を親指、5指で弾くことに慣れる
	14	ハ長調とへ長調の復習 表現が難しい曲	音楽の呼応に情感を込める	簡易伴奏のペースの選び方と奏法に工夫を凝らす
	15	ピアノVIの振り返り まとめ	2/4、3/4、6/8拍子の復習をする	日本語の美しさを感じ、伝えるための技量を備える

使用教科書	ポケットいっぱい <u>のうた</u> (教育芸術社),
	こどもの <u>うた</u> 200(チャイルド社),
	続・こどもの <u>うた</u> 200(チャイルド社)
参考書・参考資料等	日本童謡200選(音楽之友社),

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
		ピアノ・弾き歌い実技試験	80%
	平常点(態度・行動観察)	20%	毎回のレッスン状況、取り組みの姿勢

科目名	ピアノⅦ(弾き歌いを含む)	科目ナンバリング	KC3M2T07		
担当者	木村 博子・田中 幸子				
担当形態	クラス分け	単位数	1単位		
対象学科	こども学科	開設学年	4年次		
開講時期	前期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	選択必修			選択必修	BDEF
備考					

授業のテーマ及び到達目標	子どもの言葉の発達を促し、豊かな心や優しさを育む一翼を担う童謡を、音楽的に深く理解し、こどもの心に寄り添う伴奏で指導できるようにする 保育現場に合う童謡の伴奏と弾き歌いの力をつけて実習に臨む 童謡の移調奏やアレンジ、両手伴奏など与えられた課題ができるようになる			
授業の概要	実習時を想定した「暗譜・笑顔・かけ声・振り向き」を完全に身につける 目の前のこどもに語りかけるピアノ伴奏および弾き歌いのための個人レッスンを行う 実習時期に合わせ、季節、生活、行事の歌を課題曲として判定を行う			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション 基本の復習	ハ・ヘ・ト・ニ長調のコード、カデンツを練習する	各同主調でも弾く実習判定の練習計画を立てる
	2	旋律と伴奏のバランス 園生活の歌	左手伴奏の音数・厚みによりバランスを変える	判定判定課題を自己の効率よい練習順序に整理する
	3	音色と指先 細かい練習によって鍛えられる感覚	歌詞やフレーズを考えて暗譜し音色。音量に反映させる	明るい音色に必要な指先のコントロールを訓練する
	4	弾き歌いを上達させる 部分練習とソルフェージュ	歌っても影響がないピアノの安定感を求めた練習	右手旋律を弾きながら歌い、バランスを整える
	5	実習判定① 夏の歌・園生活の歌	入り易いさんハイ、顔を上げ一緒に歌う先生像をめざす	両手伴奏+歌に慣れるためソルフェージュ力をつける
	6	リズムカルな童謡・唱歌 刻みと付点リズム	明るい音色のタッチ、軽快な付点リズムを身につける	指先で鍵盤を捉えるスタッカート奏法を研究する
	7	拍感をしっかり意識する よく歌われる歌	頭の中で指揮をして拍子を感じ一貫性をもって練習する	正しい拍子・リズム・音程で歌う訓練を習慣づける
	8	へ長調と変ホ長調 夏の歌	変ホ長調について調べる(音楽理論的復習)	へ長調簡易版でも前奏は原曲の形を用いる等工夫する

	9	分散和音を拍子にのせる 重くならない左手	1拍め＝強拍だが 叩いた音にならない ようつかんで弾く	4小節を一区切として 楽譜を読み取る習慣を 身につける
	10	躍動感、印象に残る特徴的な歌 秋の自然の歌	両手伴奏で弾き歌い ができるようにする	歌として表現するたの 基礎練習の何が活かせ るか考察
	11	情景を伝える 風情ある秋の歌	音価を大切に、呼吸を 伴って歌を正しく覚える	旋律と歌、左手と歌を 別々に練習にて音楽観を 得る
	12	実習判定② 夏から秋の歌	練習、振り向きに完全 に慣れる工夫を積んで判 定に臨む	右手を少し抑えて歌との バランスをとる習慣をつ ける
	13	移調奏とアレンジ ハ・ニ・ヘ・ト長調	ハ長調とニ長調のコード を演奏と記譜で復習する	主要三和音のコードを自 由に弾けるようにする
	14	移調奏とアレンジ 長調と短調	長調と短調の響きの変化 を聴き取り、表現に繋げ る	響きの明暗、強弱など 変化に注目する習慣をつ ける
	15	実習に向けて まとめ	課題曲の完成度を上げ、 明るく歌えるようにする	実技試験に向けて弾き込 み歌い込みを万全にする

使用教科書	ポケットいっぱい <u>のうた</u> (教育芸術社),
	こどもの <u>うた</u> 200(チャイルド社),
	続・こどもの <u>うた</u> 200(チャイルド社)
参考書・参考資料等	日本童謡200選(音楽之友社),

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	ピアノ・弾き歌い実技試験	80%	かけ声・振り向き・音程・音楽性
平常点(態度・行動観察)	20%	毎回のレッスン状況、取り組みの姿勢	

科目名	ピアノⅧ(弾き歌いを含む)	科目ナンバリング	KC3M2T08		
担当者	木村 博子・田中 幸子・塩津 貴子				
担当形態	クラス分け	単位数	1単位		
対象学科	こども学科	開設学年	4年次		
開講時期	後期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	選択必修			選択必修	BDEF
備考					

授業のテーマ及び到達目標	保育現場で子どもに向き合い、寄り添う音楽の在り方を音楽大学で学ぶ意義と併せて、より深く探求する 移調奏やアレンジ、コード伴奏、両手伴奏による弾き歌い等あらゆる形に対応できる 確実に暗譜し、子どもの様子を見ながら弾き歌いする			
授業の概要	ピアノⅦまでに習得した楽譜の読み取り方、歌詞読みによりフレーズの捉え方、表現の向上のための個人レッスンを 行う 就職試験対策としてピアノ曲や弾き歌いのレッスン、卒業後すぐに必要になる定番の童謡の指導も行う 実技試験では、ピアノ曲(自由曲)、伴奏曲、弾き歌い曲の3曲とする			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション 実習の成果発表	実習時の音楽活動等についての発表準備	レッスンカードの活用を再認識し、目標を書き込む
	2	コード伴奏とベース伴奏 秋の歌	楽譜にコードネームを書き入れて音楽理論の復習をする	手遊び歌を笑顔で指導する、伴奏する役割に分けてみる
	3	正しい音程の復習 ソルフェージュの基礎	4度上行、5度上下行、8度上行の音程を正しく歌う	両手伴奏の時の歌に自信がもてるまで練習する
	4	歌詞とフレーズ 表現を考えたソルフェージュ	音価と休符に注意しフレーズの終わり方を考えて歌う	和声の機能による緊張と解決を理解し、歌に反映させる
	5	確実な暗譜 意識的暗譜と身体的暗譜	部分練習と片手練習をくり返すことの効果を実感する	技量と必要な練習量を知り頭と身体両面から暗譜する
	6	成果発表① 弾き歌い、移調奏、ピアノ曲他	個人のペースと就職試験に合わせ、自由曲を用意する	演奏マナー、聴くときの態度ができていたか振り返る
	7	ピアノ曲 クラシック、アニメソングのピアノソロ他	作曲者、曲の背景を調べ、出版社・版も比較する	楽譜から曲の内容を読み取れていたら振り返る
	8	成果発表② ピアノ曲の仕上げ	曲について調べたことをメモし使いやすい楽譜を作る	音楽用語、記号をまとめ、大譜表の書き方を復習する

	9	移調奏とアレンジ 冬の歌・行事	ハ・ニ・ヘ・ト長調 のコードを復習し ておく	長2度上下行に慣 れたら短2度上下 行に挑戦する
	10	スタッカートとマルカート 季節の歌・冬	連打するコードの 弾き方を復習する	近隣調に移調し、 楽譜を書く復習を する
	11	二長調の復習 早春の行事	左手だけ伴奏しな がらバランスのよ い声量で歌う	擬音語の歌い方、 弾き方を研究し、 楽しさを伝える
	12	成果発表③ 短い設定保育	園児への語りか け、声のトーンも 研究する	園児の顔を見な がら楽しく歌うと ころまで練習する
	13	アルベルティバスを滑らかに弾く 春の歌	左手の部分練習 を行い、リズム変 奏で指の訓練をす る	既成の編曲を参 考にして画一的な 伴奏をアレンジす る
	14	4年間の振り返り 卒業後に役立つ課題	就職先の園歌や 未知の曲の楽譜 を譜読みし予習す る	教員の助言を参 考に練習の仕方 を考える
	15	試験課題曲	後期実技試験課 題曲の予習と暗譜 に取り組む	実技試験曲を仕 上げ今後の課題 の練習計画を立 てる

使用教科書	ポケットいっぱい <u>のうた</u> (教育芸術社),
	こどものうた200(チャイルド社),
	続・こどものうた200(チャイルド社)
参考書・参考資料等	日本童謡200選(音楽之友社),

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
		ピアノ・弾き歌い実技試験	80%
	平常点(態度・行動観察)	20%	毎回のレッスン状況、取り組みの姿勢

科目名	ハーモニーⅡ	科目ナンバリング	KC3M2T29		
担当者	木村 博子				
担当形態	単独	単位数	2単位		
対象学科	こども学科	開設学年	3年次		
開講時期	前期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	選択必修			選択必修	CDE
備考					

授業のテーマ及び到達目標	保育現場で子どもに向き合い、寄り添う音楽の在り方を音楽大学で学ぶ意義と併せて、より深く探求する 移調奏やアレンジ、コード伴奏、両手伴奏による弾き歌い等あらゆる形に対応できる 確実に暗譜し、子どもの様子を見ながら弾き歌いする			
授業の概要	ピアノⅦまでに習得した楽譜の読み取り方、歌詞読みによりフレーズの捉え方、表現の向上のための個人レッスンを 行う 就職試験対策としてピアノ曲や弾き歌いのレッスン、卒業後すぐに必要になる定番の童謡の指導も行う 実技試験では、ピアノ曲(自由曲)、伴奏曲、弾き歌い曲の3曲とする			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	授業についての説明 機能と声やコードの確認テスト	ハーモニーⅠの復習	確認テストの振り返り
	2	童謡・子どもの曲のコード伴奏と移調 (ハ長調)	課題曲の旋律を弾く	課題曲を移調する
	3	童謡・子どもの曲のコード分析とアレンジ (ハ長調)	課題曲を弾いてコードを考える	授業でのアレンジを基に自分で考える
	4	童謡・子どもの曲のコード伴奏と移調 (ヘ長調)	課題曲の旋律を弾く	課題曲を移調する
	5	童謡・子どもの曲のコードを分析とアレンジ (ヘ長調)	課題曲の旋律を弾く	課題曲を移調する
	6	童謡・子どもの曲のコード伴奏と移調 (ト長調)	課題曲の旋律を弾く	課題曲を移調する
	7	童謡・子どもの曲のコードを分析とアレンジ (ト長調)	課題曲を弾いてコードを考える	授業でのアレンジを基に自分で考える
	8	確認テスト (課題曲のコード伴奏、移調、アレンジ)	これまでの復習	確認テストの振り返り

	9	童謡・子どもの曲のコード伴奏と移調 (二長調)	課題曲の旋律を弾く	課題曲を移調する
	10	童謡・子どもの曲のコードを分析とアレンジ (二長調)	課題曲を弾いてコードを考える	授業でのアレンジを基に自分で考える
	11	童謡・子どもの曲のコード伴奏、移調 (ハ長調、ヘ長調、ト長調、二長調以外の調)	自分で曲を選び旋律を弾く	課題曲を移調する
	12	童謡・子どもの曲のコードを分析とアレンジ (ハ長調、ヘ長調、ト長調、二長調以外の調)	自分で選んだ曲を弾いて、コードを考える	授業でのアレンジを基に自分で考える
	13	アンサンブル	課題曲を聴く	自分のパートを練習する
	14	アンサンブル (いろいろな音色に変えて演奏)	音色を考える	自分以外のパートも練習してみる
	15	まとめ	発表の準備	発表と授業で行ったすべての内容の振り返りをする

使用教科書	配付プリント
参考書・参考資料等	日本童謡200選(音楽之友社),

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	期末試験	60%	実技試験
	課題 / レポート	20%	課題への取り組み
	平常点	20%	受講態度